

学修成果の可視化を通じた卒業時の質保証の取組

【取組のポイント】

- 授業外学修を促進するラーニングコモンズの新設
- ディプロマ・ポリシーに定める能力の獲得状況を評価するルーブリックの開発
- 卒業時の「ディプロマ・サプリメント」の発行と各年度末「プレディプロマ・サプリメント」の発行
- ステークホルダとの連携による学生のキャリア形成と教育活動
- アクティブラーニングにふさわしい授業時間の設定(クォーター制と105分授業の導入)

○本事業における主な新規取組

【授業外学修時間の増加】

- ラーニングコモンズの開設(2017年度): 内部進学の大大学院生をTAとして、キャリア科目の提出物添削や、レポート作成や必修科目の支援、個別相談、指導を実施。



【学習成果の可視化と発信】

- ルーブリックの開発(2016年度~): ディプロマ・ポリシー(DP)に定める4つの力の因子構造を求め、FD、卒業生、産業界からの意見聴取を経て、「公益大22の力」として制定。就職先やインターンシップ受入先等を対象に、入社段階で求められる水準を調査し、学生に提示して向上意欲を喚起。
- ディプロマ・サプリメントの発行(2019年度): 単位修得状況、GPA推移、DPに定める力の獲得状況のGP値等を記載し、毎年発行。学生の取り組みの振り返りと目標設定に活用。

東北公益文科大学 ディプロマサプリメント

氏名	公益 太郎	学部学科	公益学部公益学科
生年月日	1998年4月2日	コース	政策コース
学籍番号	C1169999	入学年度	2016年4月1日
追加履修課程	社会福祉士養成課程		
留学	H29 中国短期留学(東北林業大学)		
長期学外学修	H30 中期留学(世新大学)		
卒業論文題目	ディプロマポリシーに関する一考察		

GPA 推移

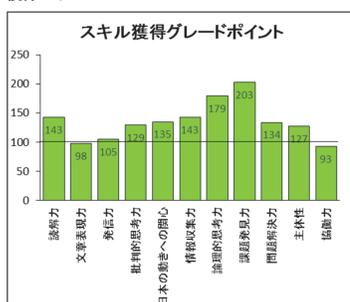


※平均は今年度の卒業生との比較

修得単位

2016年度	52単位
2017年度	49単位
2018年度	33単位
2019年度	5単位

獲得スキル

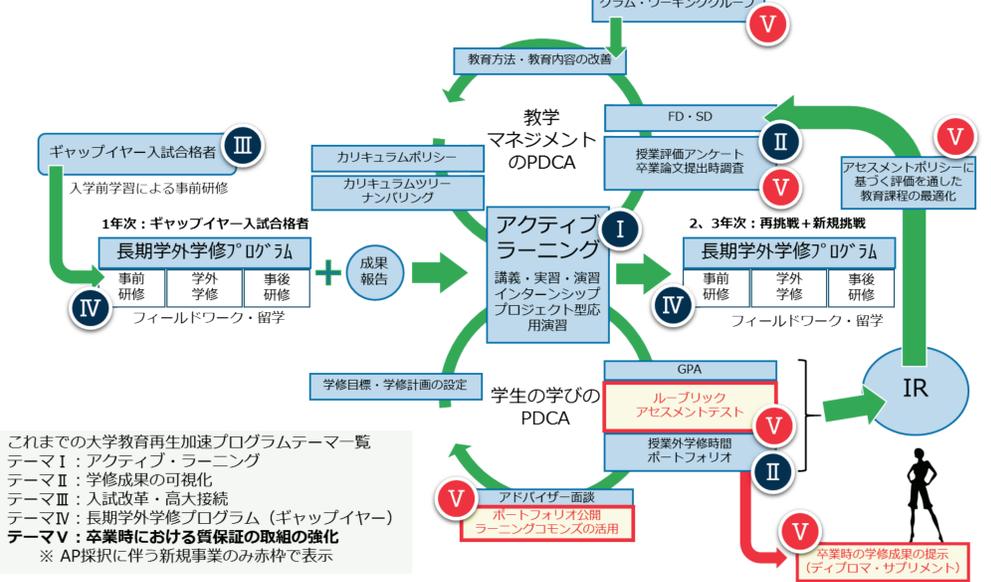


※横線は卒業時点での目標水準

資格取得
TOEIC700点
日商簿記2級

特記事項
学長賞授与

公益大の改革推進状況と高大接続改革推進事業の関連



【学外学習・アクティブラーニングの推進】

- クォーター制の導入(2015年度): 履修科目を減らし集中的に取り組む環境を整備。約70%の科目をクォーター制で開講。
- 【クォーター制のメリット】
 - ・第1クォーターは学内で科目を履修し、第2クォーターは学外に出て長期のインターンシップに行ったり、夏休みと合わせた期間で中期留学にチャレンジするなど、長期間の学外学修が可能
 - ・一つの科目を週2回の進度で履修するため、集中した学修ができる
- 105分授業の導入(2018年度): アクティブラーニングの推進と、授業期間短縮(16週→14週)による夏季休業期間を活用した実習、インターンシップ、短期留学等の推進
- 【105分授業のメリット】
 - ・1回の授業でグループワークやプレゼンテーションなど学生が主体的に取り組む時間を多く設けることが可能
 - ・授業回数の減少により結果的に休業期間の増加につながりインターンシップなどの実習時間確保へ

○主な成果

	2015	2016	2017	2018
AL実施授業数	237*	188	244	284
LC利用者数	-	-	9264	12296
授業外学修時間	10.0	12.9	13.5	12.6
インターンシップ参加者	101	81	131	134
長期学外学修参加者	3	9	20	19
GPA平均値	2.33	2.24	2.66	2.68
ステークホルダ参加科目履修者数	535	992	1316	1255

AL: アクティブ・ラーニング LC: ラーニング・コモンズ
*新カリキュラムへの移行中(旧カリキュラムの科目含む)